



新年明けましておめでとうございます。安芸高田市民の皆様にご挨拶申し上げます。新年のごあいさつを申し上げますとともに、平素は、市政推進に對しましてご理解、ご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の年末ですが、「高校生神楽甲子園ひろしま安芸高田実行委員会」が第33回「県民文化奨励賞」を受賞しました。第7回を迎えた「高校生神楽甲子園ひろしま安芸高田」の取り組みが、広島県を代表する文化として評価して頂いたものです。全国唯一無二の大会として、広島県の伝統文化、ひいては全国の伝統文化の発展に引き続き寄与して参りたいと思います。

また、昨年は、人口減対策及び少子高齢化対策として、移住・定住者支援、子育て支援、そして健康長寿

社会の実現を目指し、攻めの施策を実施しました。

移住・定住者支援として、地方創生推進課を新設し、市役所内の人口減対策や定住促進などの事業を総括してより効果的な事業展開を行なっています。子育て支援としては、これまで「24時間保育」を掲げるファミリーサポートセンター事業の充実、保育料の減免拡充、乳幼児等医療費助成制度の受給対象年齢を拡大して子育て環境を整えてきました。今後は、柔軟な雇用機会の確保として、光ファイバー網を活用したテレワーク（家庭で出来る仕事）の創出など、より発展した施策展開を図って参ります。また、健康長寿社会への取り組みとして、生活支援員制度に取り組みんでいます。現在、4地域振興会が「生活支援員制度に関する協定」に調印され、10月から始動して頂いています。「地域全体で高齢者等を見守る体制」を構築し、住み慣れた地域で安心して生活できる事を目指し、順次、各地域振興会の理解と協力が得られるよう説明会を行っています。市民の皆様には是非、「ちょっと気かけ」「ちょっと声をかけ」「気軽に集まる」などを実践して頂き、「地域の支えあう力」

が地域全体に広がるよう、ご協力をお願いいたします。

同時に、財政運営の効率化・健全化も推し進めています。安定した経営基盤を市民の皆様と一丸となって確立するため、職員数の適正管理、事業の選択と集中、民間委託の取り組み、公共施設の適正配置などに取り組みんでいます。また、引き続き自助・共助・公助の理念の下に市民の皆様のご理解ご協力を賜り、市民総ヘルパー構想による医療・福祉・介護の費用抑制を進めて参りたいと考えております。

「神楽」を活用した観光振興・地域振興施策については、冒頭でもふれました「高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田」は全国17校参加、のべ約3400人の来場者、「ひろしま安芸高田神楽東京公演」は、約1200人に鑑賞頂き着実に成果を挙げています。昨年には県内の神楽団からの選拔者がフランス・ファッシュンウィーク（通称パリコレ）でファッションショーと共演し、海外へ伝統芸能の発信の可能性を開拓しています。

本市の応援団「ふるさと応援の会」は現在、約2300名の会員から成り、設立から6年を迎えた昨年、関

西地区を設立されました。関東・関西の2大都市圏での組織化が実現したことにより、2020年東京オリピック・パラリンピックに向けて当市の魅力をより一層力強く発信できるものと期待しています。

当市には郡山城、甲立古墳の二つの国史跡があります。これらを活用した観光振興にも力を注いで参ります。

また、日本を代表するトップレベルの「サンフレッチェ広島」「湧永レオリック」のマザータウンとして、引き続き市民の皆様とともに応援・支援を行ってまいります。

今年、JR三江線の代替交通の確保、小学校統合など、市民の皆様を取り巻く状況が大きく変化します。今の時代に沿った交通体系の形成よりレベルアップした教育環境を構築する機会ととらえ、未来に向けた新しい姿を描いていきたいと思っております。沿線住民の皆様、保護者や地域の皆様には、引き続きご理解・ご協力を賜り、将来に亘り持続可能な財産となるよう努力して参ります。

終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



安芸高田市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

安芸高田市議会を代表して、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、お健やかで希望にあふれた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より安芸高田市議会に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

一昨年の市議会選挙から1年以上が経過いたしました。現在の体制と

なつてからの1年を振り返ってみますと、「議会改革特別委員会」を設置し、議会基本条例の制定に向けて14回の協議を重ね、議会基本条例の骨格部分を取りまとめたところであり、年度内の条例制定に向け、更に協議を重ねてまいりたいと思っております。また、「道の駅整備調査特別委員会」を設置し、平成32年度の供用開始に向けて、多面的機能を有する道の駅となるよう、調査・協議を重ねているところであります。

さて、国が新たに打ち出しました「働き方改革」につきましては、本市では「安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本として、在宅で仕事が可能となる、また、どの時間帯でも仕事ができる「テレワーク」の実証実験、空き家や空き

店舗、遊休施設などを活用した「サテライト・オフィス」の誘致を行うなど、新たな就労形態の可能性を探っているところであります。

また本市は、年度当初より人口減対策を主要施策と位置付けて様々な事業を行っております。「安芸高田市人口ビジョン」に掲げる目標人口の達成に向けて、従来から進めております空き家対策はもとより、それを基本とした、U・Iターン者や子育て世帯の移住・定住の促進も、より一層強化して進めているところであります。中山間地域が抱える諸課題の早期解決に向け、厳しい財政状況ではあります、行政と共に創意工夫を行いながら本市の目指す将来像を実現する必要があると考えております。

安芸高田市議会といたしまして

は、二元代表制の一方の柱として、これまで以上に民意を反映させるため、「議会の権限と機能」を十分に発揮し、行政が推進する各種施策に對し、監視や提言を行い、その役割を果たしてまいります。

市民の皆様のご負担に代るべく、更なる「真に市民に開かれた、市民のための議会」の推進と活性化を目指し、努力してまいります。

どうか本年も、市議会に對しまして一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年の新春にあたり、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。